

2014年度第2四半期決算の概要及び 2014年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2014年11月5日

目次

1. 2014年度第2四半期決算の概要

1)2014年度第2四半期の事業概況およびトピックス	… 1
2)決算の概要	… 2、3
3)セグメント別 売上高・営業利益(増減分析)の内訳	… 4
4)セグメント別 4-9月 売上高・営業利益の内訳(対前回予想増減)	… 5
5)営業外損益の内訳	… 6
6)特別損益の内訳	… 7
7)貸借対照表	… 8
8)キャッシュ・フロー計算書	… 9

2. 2014年度業績予想の概要

1)2014年度 第3四半期以降のトピックス	… 10
2)業績予想の概要	… 11
3)セグメント別 売上高・営業利益の予想	… 12
4)営業利益増減分析(13年度決算→14年当初予想→14年今回予想)	… 13
5)セグメント別 10-3月 売上高・営業利益予想(対当初予想増減)	… 14
6)営業外損益の内訳	… 15
7)特別損益の内訳	… 16
8)キャッシュ・フロー計算書	… 17
9)連結経営データ	… 18

3. 補助資料

1)主要製品価格の状況	… 19
2)主要関係会社の状況	… 20
3)資源投入推移	… 21
4)2014年度 第2四半期までのトピックス	… 22
5)2014年度 セグメント別 売上高・営業利益の内訳(上下増減、主要増減内訳)	… 23

1. 2014年度第2四半期決算の概要

1) 2014年度 第2四半期の事業概況およびトピックス

<事業概況>

- ◆メガネレンズモノマー、不織布等のヘルスケア材料および農薬は、海外需要拡大に伴って堅調に推移。
- ◆エラストマー、PPコンパウンド等の自動車関連材料は、北米を中心に海外の需要好調が継続、また機能性ポリマーも、電子情報関連材料（スマートフォン等）向けを中心に好調。
- ◆国内石化事業については、ナフサクラッカーが上期を通じて90%程度の稼働率を確保、ナフサ価格が安定推移したことにより、ポリオレフィン事業の交易条件も改善し、堅調に推移。
- ◆大型市況製品の構造改革も予定通り進捗。また8月以降フェノール類の交易条件が改善し、基礎化事業の赤字が縮小。一方、ポリウレタン原料事業については、海外市況の低迷により厳しい状況が継続。

<第2四半期トピックス>

(主な成長投資、新規稼働)

- ・LIBの熱暴走を抑制するSTOBA®の製造販売に関する特許独占ライセンス取得(14年9月)

(構造改革、合理化)

- ・有機酸事業承継の事業譲渡契約締結(14年7月)
- ・千葉フェノール(25万t/年)停止完了(14年9月)

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-9月決算	14年度 4-9月決算	増減	増減率
売 上 高	7,316	7,760	444	6%
営 業 利 益	110	186	76	69%
営 業 外 損 益	△3	8	11	—
経 常 利 益	107	194	87	81%
特 別 損 益	△24	△33	△9	—
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	83	161	78	94%
四 半 期 純 利 益	10	74	64	616%
為替レートの(円/\$)	99	103	4	
国産カサ(円/KL)	64,700	70,400	5,700	
中 間 配 当	3円/株	2円/株	△1円/株	—

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度 決 算	14年度 4-9月決算	増減	増減率
有 利 子 負 債	5,813	5,762	△51	△1%
Net 有 利 子 負 債	5,093	5,161	68	1%
自 己 資 本	3,528	3,712	184	5%
Net D / E レシオ (倍)	1.44	1.39	△0.05	—
自己資本比率 (%)	24.6	25.9	1.3	—

(単位：社)

摘 要	13年度 4-9月 決算	13年度 決算 (a)	14年度 4-9月 決算(b)	増減 (b)-(a)	備考
連 結 対 象 会 社 数					
連 結 子 会 社	100	97	99	2	
持 分 法 子 会 社	8	8	8	0	
持 分 法 関 連 会 社	29	30	31	1	
連 結 対 象 会 社 計	137	135	138	3	

3) セグメント別 売上高・営業利益(増減分析)の内訳

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	13年度 4-9月 決算	14年度 4-9月 決算	増減	13年度 4-9月 決算	14年度 4-9月 決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
機能化学品	778	1,052	274	79	78	△1	21	△8	△14
機能樹脂	810	857	47	74	72	△2	19	△20	△1
ウレタン	763	750	△13	△41	△35	6	△2	3	5
基礎化学品	2,041	1,652	△389	△80	△44	36	△15	16	35
石化	2,413	2,908	495	98	123	25	9	10	6
フィルム・シート	394	405	11	9	17	8	7	△5	6
その他	117	136	19	△29	△25	4	0	0	4
合計	7,316	7,760	444	110	186	76	39	△4	41

4) セグメント別 4-9月 売上高・営業利益の内訳 (対前回予想増減)

(単位：億円)

セグメント	売上高(14年4-9月)			営業利益(14年4-9月)			主要増減内訳 (営業利益)
	前回予想 (14.8.1)	決算	増減	前回予想 (14.8.1)	決算	増減	
機能化学品	1,040	1,052	12	85	78	△7	触媒ライセンス下期ズレ (-)
機能樹脂	900	857	△43	80	72	△8	アジアC2市況高 (-) 市原クラッカー前倒し点検影響 (-)
ウレタン	710	750	40	△30	△35	△5	TDI市況低迷 (-)
基礎化学品	1,600	1,652	52	△60	△44	16	フェノール類の交易条件改善、 ベンゼン高騰リスク回避 (+)
石化	2,930	2,908	△22	115	123	8	ポリオレフィン交易改善、コストダウン (+) 市原クラッカー前倒し点検影響 (-)
フィルム・シート	420	405	△15	15	17	2	電子・情報用フィルム増販 (+)
その他	100	136	36	△45	△25	20	新規事業費用等下期ズレ (-)
合計	7,700	7,760	60	160	186	26	

5) 営業外損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-9月 決 算	14年度 4-9月 決 算	増減	備 考
持分法投資損益	15	4	△11	
金 融 収 支	△17	△16	1	
為 替 差 損 益	2	18	16	
そ の 他	△3	2	5	
営業外損益	△3	8	11	

6) 特別損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-9月 決 算	14年度 4-9月 決 算	増減	備 考
特別利益 (A)				
資産売却益	0	2	2	
特別利益計	0	2	2	
特別損失 (B)				
固定資産処分・売却損	9	15	6	
減 損 損 失	0	18	18	
そ の 他	15	2	△13	
特別損失計	24	35	11	
特別損益 (A - B)	△24	△33	△9	

7) 貸借対照表

(単位：億円)

摘 要	14年3月	14年9月	増減	摘 要	14年3月	14年9月	増減
流動資産	(7,771)	(7,798)	(27)	負債	(10,226)	(10,063)	(△163)
現 預 金	720	601	△119	買 掛 債 務	2,198	2,059	△139
売 掛 債 権	2,965	2,900	△65	有利子負債	5,813	5,762	△51
たな卸資産	3,012	3,291	279	そ の 他	2,215	2,242	27
そ の 他	1,074	1,006	△68				
固定資産	(6,551)	(6,555)	(4)	純資産	(4,096)	(4,290)	(194)
有形・無形 固定資産	4,980	4,927	△53	株 主 資 本	3,510	3,593	83
[うち無形]	[722]	[688]	[△34]	その他の包括 利益累計額	18	119	101
投 資 等	1,571	1,628	57	少数株主持分	568	578	10
合 計	14,322	14,353	31	合 計	14,322	14,353	31

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-9月 決 算	14年度 4-9月 決 算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	345	151	△194
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△799	△168	631
フリーキャッシュ・フロー (A+B)	△454	△17	437
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	680	△117	△797
IV. その他	14	5	△9
現預金等増減	240	△129	△369

2. 2014年度業績予想の概要

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1) 2014年度 第3四半期以降のトピックス

(主な成長投資、新規稼働等)

- ・たはらソーラーウインド営業運転開始 (14年10月)
- ・韓国でのマーケティング拠点「三井化学 (株) 韓国支社」を設立 (14年10月)
- ・海外PPコンパウンド増強により、グローバル100万t/年 体制確立 (14年度末)
- ・中国EPT (SSME) 稼働開始予定 (7.5万t/年)
- ・中国機能性コンパウンド (MFS : ミラストマー[®]、アトマー[®]) 新設備稼働開始予定 (1.1万t/年)

(構造改革&合理化)

- ・有機酸事業承継の事業(営業権)譲渡 (14年10月)
生産設備(生産能力:無水リン酸 3.2万t/年、フマル酸 1.5万t/年)については、TDI設備等の撤去工事終了後(2017年度上期中を目途)
- ・中国PH (SSMC) 稼働開始予定 (PH 25万t/年、AC 15万t/年 : 14年12月)
- ・千葉地区LLDPE設備1基停止(6万t/年 : 14年12月)

2) 業績予想の概要

(単位：億円)

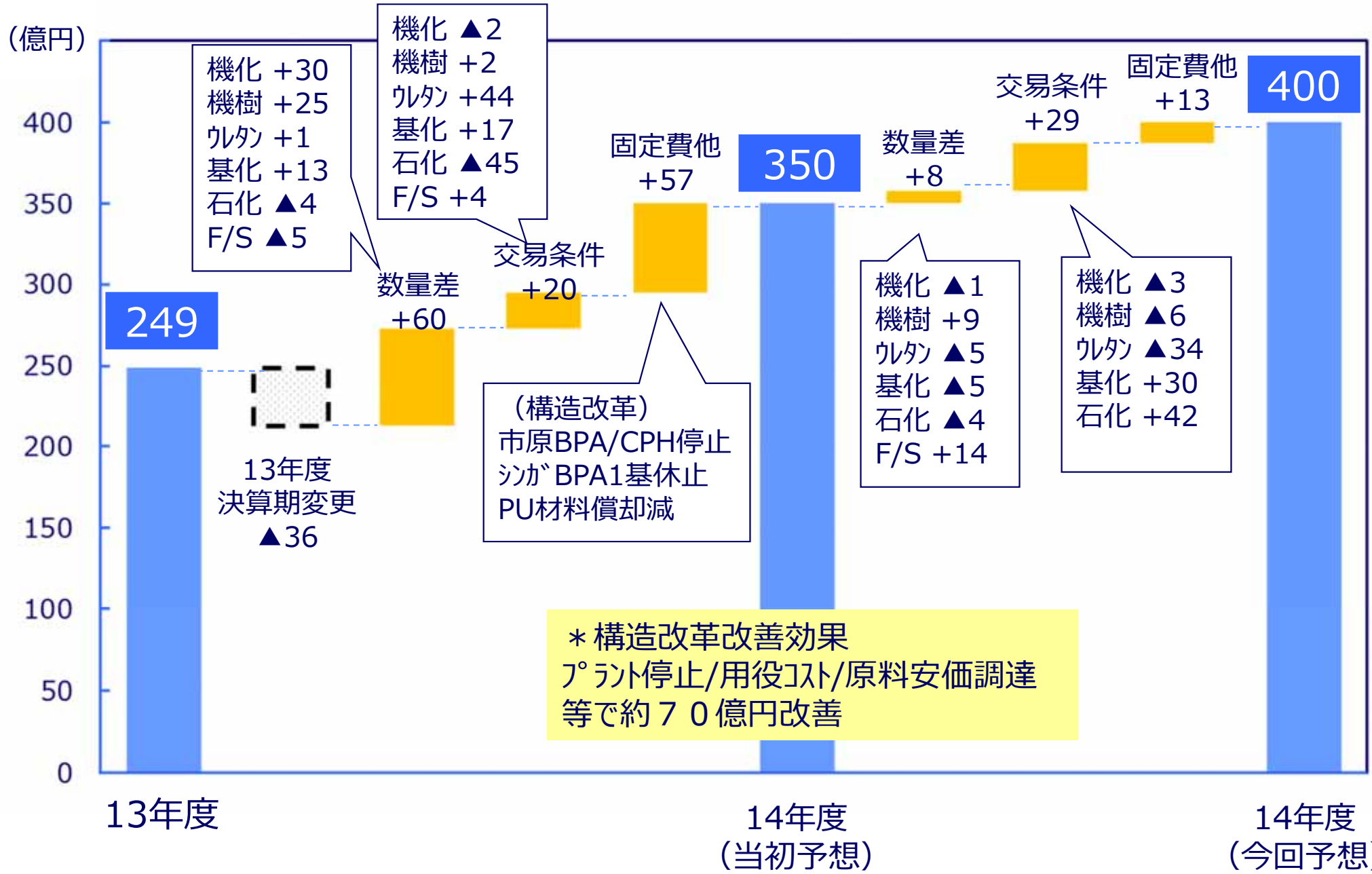
摘要	13年度決算 (a)		14年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		14年度予想 (14.8.1発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度
売上高	7,316	15,660	7,760	16,230	444	570	7,700	16,800
営業利益	110	249	186	400	76	151	160	350
営業外損益	△ 3	△ 24	8	△ 20	11	4	△ 30	△ 40
経常利益	107	225	194	380	87	155	130	310
特別損益	△ 24	△ 330	△ 33	△ 70	△ 9	260	△ 30	△ 60
税金等調整前 当期純利益	83	△ 105	161	310	78	415	100	250
当期純利益	10	△ 251	74	140	64	391	40	120
為替レートの影響	99	100	103	105	4	5	102	103
国産力の影響	64,700	67,300	70,400	67,700	5,700	400	70,500	70,200
摘要	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
配当	3円/株	-	2円/株	3円/株	△1円/株	+3円/株	-	3円/株
	通期	3円/株	通期	5円/株	通期	+2円/株	通期	3円/株

3) セグメント別 売上高・営業利益の予想

(単位：億円)

セグメント	13年度				14年度				14年度予想 (14.8.1発表)	
	売上高		営業利益		売上高		営業利益		売上高	営業利益
	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度		
機能化学品	778	1,904	79	150	1,052	2,200	78	165	2,210	165
機能樹脂	810	1,767	74	119	857	1,770	72	145	1,810	145
ウレタン	763	1,638	△41	△52	750	1,620	△35	△35	1,820	10
基礎化学品	2,041	3,762	△80	△174	1,652	3,460	△44	△75	3,740	△90
石化	2,413	5,524	98	253	2,908	6,030	123	240	6,120	195
フィルム・シート	394	799	9	9	405	840	17	30	850	10
その他	117	266	△29	△56	136	310	△25	△70	250	△85
合計	7,316	15,660	110	249	7,760	16,230	186	400	16,800	350

4) 営業利益増減分析 (13年度決算→14年当初予想→14年今回予想)



5) セグメント別10-3月 売上高・営業利益予想 (対当初予想増減)

(単位：億円)

セグメント	売上高 (14年度下期)			営業利益 (14年度下期)			主要増減内訳 (営業利益)
	当初予想 (14.5.13)	今回予想	増減	当初予想 (14.5.13)	今回予想	増減	
機能化学品	1,170	1,148	△22	90	87	△3	上期前倒し販売による数量減 (-) (ハルスクア、不織布等)
機能樹脂	910	913	3	80	73	△7	エラストマー類交易悪化 (-) (アジアC2市況高)
ウレタン	960	870	△90	30	0	△30	TDI市況低迷 (-) (市況前提見直し)
基礎化学品	1,860	1,808	△52	△40	△31	9	3Q フェノール類の交易条件改善 (+)
石化	3,190	3,122	△68	100	117	17	ナフサクラッカー稼働率向上(+) ポリオレフィン数量減 (-)
フィルム・シート	430	435	5	10	13	3	電子・情報用フィルム増販 (+)
その他	130	174	44	△40	△45	△5	新規事業費用等下期ズレ (-)
合計	8,650	8,470	△180	230	214	△16	

6) 営業外損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度決算 (a)		14年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		14年度予想 (14.8.1発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度
持分法投資損益	15	8	4	10	△11	2	0	20
金融収支	△17	△33	△16	△40	1	△7	△20	△45
為替差損益	2	2	18	18	16	16	△10	△10
その他	△3	△1	2	△8	5	△7	0	△5
営業外損益	△3	△24	8	△20	11	4	△30	△40

7) 特別損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度決算 (a)		14年度予想 (b)		増減(b)-(a)		14年度予想 (14.8.1発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度	4-9月	年度
特別損益								
資産売却益	0	25	2	2	2	△23	2	2
受取保険金	0	41	0	0	0	△41	0	0
固定資産処分・売却損	△9	△23	△15	△40	△6	△17	△28	△58
減損損失	0	△5	△18	△18	△18	△13	△2	△2
事業構造改善費用	△15	△368	0	0	15	368	0	0
その他	0	0	△2	△14	△2	△14	△2	△2
特別損益計	△24	△330	△33	△70	△9	260	△30	△60

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	13年度決算		14年度予想		増減 (b)-(a)	14年度予想 (14.8.1発表)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	345	435	151	510	75	50	450
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△799	△898	△168	△460	438	△230	△530
フリーキャッシュ・フロー (A+B)	△454	△463	△17	50	513	△180	△80
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	680	669	△117	△300	△969	60	△40
IV. その他	14	56	5	0	△56	0	0
現預金等増減	240	262	△129	△250	△512	△120	△120

9) 連結経営データ



項 目		13年度決算		14年度予想		14年度予想 (14.5.13発表)	
		4-9月	年間	4-9月	年間	4-9月	年間
為 替 レ ー ト	円/\$	99	100	103	105	103	103
国産標準ナフサ価格	円/KL	64,700	67,300	70,400	67,700	70,000	70,000
設 備 投 資 額	億 円	768	1,132	191	480	240	540
(企業買収を除く)	億 円	(208)	(538)	(160)	(450)	(240)	(540)
研 究 開 発 費	億 円	153	336	158	320	165	335
減 価 償 却 費	億 円	230	481	237	480	230	480
金 融 収 支	億 円	△17	△33	△16	△40	△25	△45
期末有利子負債残高	億 円	5,889	5,813	5,762	5,600	5,900	5,800
Net D/Eレシオ	倍	1.33	1.44	1.39	1.35	1.47	1.39
期 末 従 業 員 数	人	14,431	14,271	14,345	14,250	14,750	14,700

3. 補助資料

1) 主要製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2012年				2013年				2014年		
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産基準 打掛価格	(円/KL)	54,100	60,600	49,800	55,800	63,800	65,500	63,900	67,800	72,000	69,900	70,900
PE国内	(円/KG)	△5円 程度	+20円 程度	△20円 程度	+10円 程度	+15円 程度	+5円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→
PP国内	(円/KG)	△5円 程度	+20円 程度	△20円 程度	+10円 程度	+15円 程度	+5円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→
PH国内	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$1,160	\$1,160	\$1,110	\$1,320	\$1,430	\$1,310	\$1,250	\$1,290	\$1,330	\$1,270	\$1,380
BPA国内	(円/KG)	△30円	+25円	△14円 (8月~)	+13円 (11月~)	+36円 (3月~)	→	→	→	+21円 (3月~)	→	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉												
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,730	\$1,690	\$1,690	\$1,750	\$1,920	\$1,740	\$1,660	\$1,630	\$1,660	\$1,670	\$1,910
PTA 中国市況	(\$/T)	\$1,180	\$1,070	\$1,030	\$1,120	\$1,170	\$1,050	\$1,080	\$1,020	\$940	\$910	\$980
PX (*ACP)	(\$/T)	\$1,560	\$1,500	\$1,340	\$1,530	\$1,630	\$1,410	\$1,450	\$1,440	\$1,300	\$1,260	\$1,350
TDI 中国市況	(\$/T)	\$2,560	\$3,030	\$2,830	\$2,770	\$2,680	\$2,530	\$2,375	\$2,340	\$2,330	\$2,320	\$2,340

*ACP アジア圏契約価格

2) 主要関係会社の状況

項 目	資本金	当社シェア	売上規模	営業利益	
			(13年度)	14年度 4-9月決算	14年度予想
連結子会社	億円	%	億円		
プライムポリマー	200	65.0	3,000	黒字	↗
アドバンスド・コンポジット	14.1百万US\$	61.8	900	黒字	↗
三井フェノールズシンガポール	120百万US\$	95.0	700	赤字	↗
三井エラストマーズシンガポール	96百万US\$	100.0	500	黒字	→
三井化学アグロ	3.5	100.0	400	黒字	→
三井化学東セロ	34.5	100.0	700	黒字	↗
持分法適用会社					
三井・デュポンポリケミカル	64.8	50.0	400	黒字	→
三井・デュポンフロケミカル	28.8	50.0	300	黒字	→
サイアム三井PTA ※	48億BAHT	50.0	1,000	赤字	→

※13年下期より持分法適用会社に変更。

営業利益：→は対13年度5億円未満の増減

3) 資源投入推移

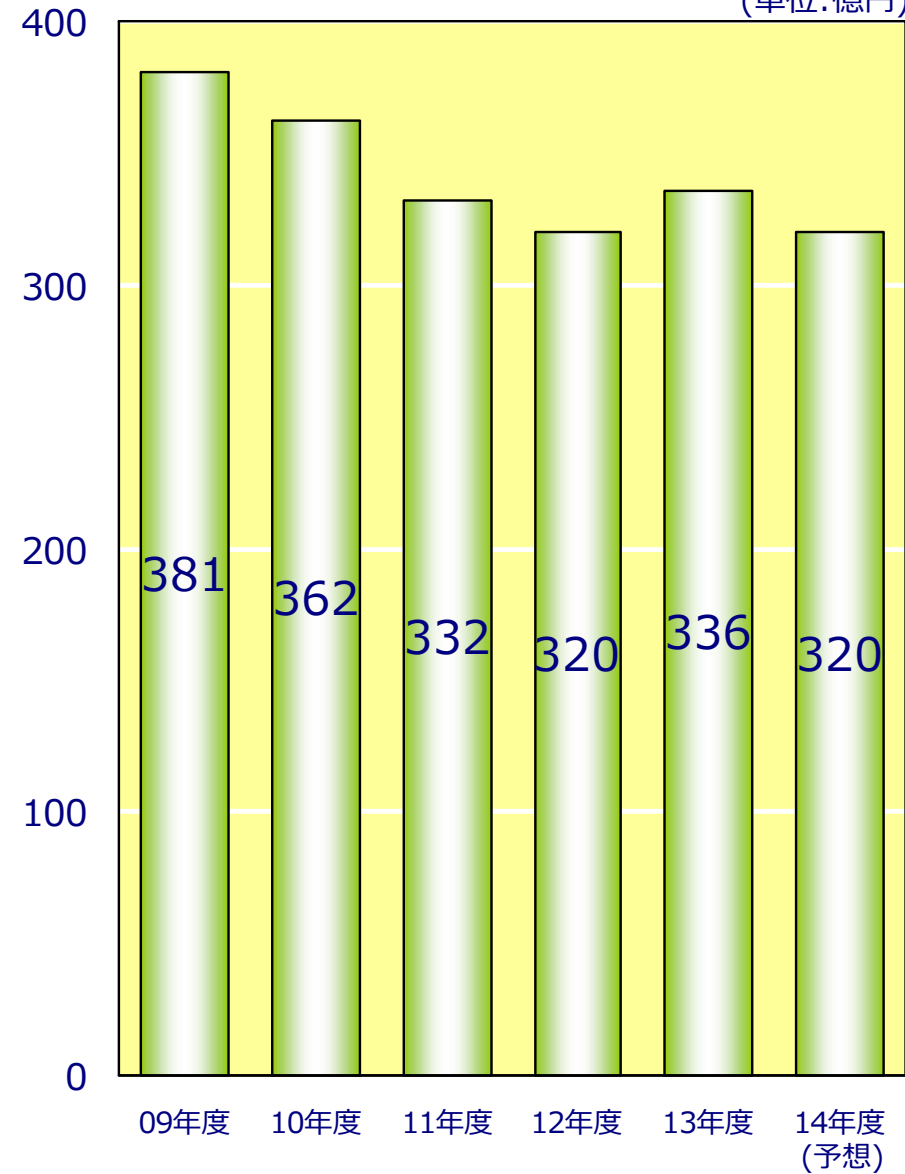
投融资

(単位: 億円)



研究開発費

(単位: 億円)



4) 2014年度 第2四半期までのトピックス

(主な成長投資、新規稼働)

- ・米国Corning社の調光レンズ材料「SunSensors®」譲受け (14年5月)
- ・BASFと新規殺虫剤のグローバル共同開発契約締結 (14年6月)
- ・LIBの熱暴走を抑制するSTOBA®の製造販売に関する特許独占ライセンス取得(14年9月)

(構造改革、合理化)

- ・市原BPA停止(9万t/年)およびシカゴポールBPA1系列休止(7万t/年) → 14年3月末実施済
- ・有機酸事業承継の事業譲渡契約締結(14年7月)
- ・千葉フェノール (25万t/年) 停止完了 (14年9月)

5) 2014年度 セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (上下増減、主要増減内訳)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			主要増減内訳 (営業利益)
	上期	下期	増減	上期	下期	増減	
機能化学品	1,052	1,148	96	78	87	9	不織布、農薬、触媒ライセンス増販 (+)
機能樹脂	857	913	56	72	73	1	エラストマー類増販 (+) EPTライセンス収入下期ズレ (+)
ウレタン	750	870	120	△35	0	35	TDI増販、TDI為替、定修差 (+)
基礎化学品	1,652	1,808	156	△44	△31	13	千葉フェノール停止効果 (+)
石化	2,908	3,122	214	123	117	△6	ポリオレフィン在庫影響、交易条件 (-) 定修差 (+)
フィルム・シート	405	435	30	17	13	△4	包装フィルム交易悪化 (-)
その他	136	174	38	△25	△45	△20	新規事業費用等下期ズレ (-)
合計	7,760	8,470	710	186	214	28	

以 上